



AIフレイル実証 今年度の取組紹介

2025年2月27日

株式会社デジラボホールディングス 上田 聖也

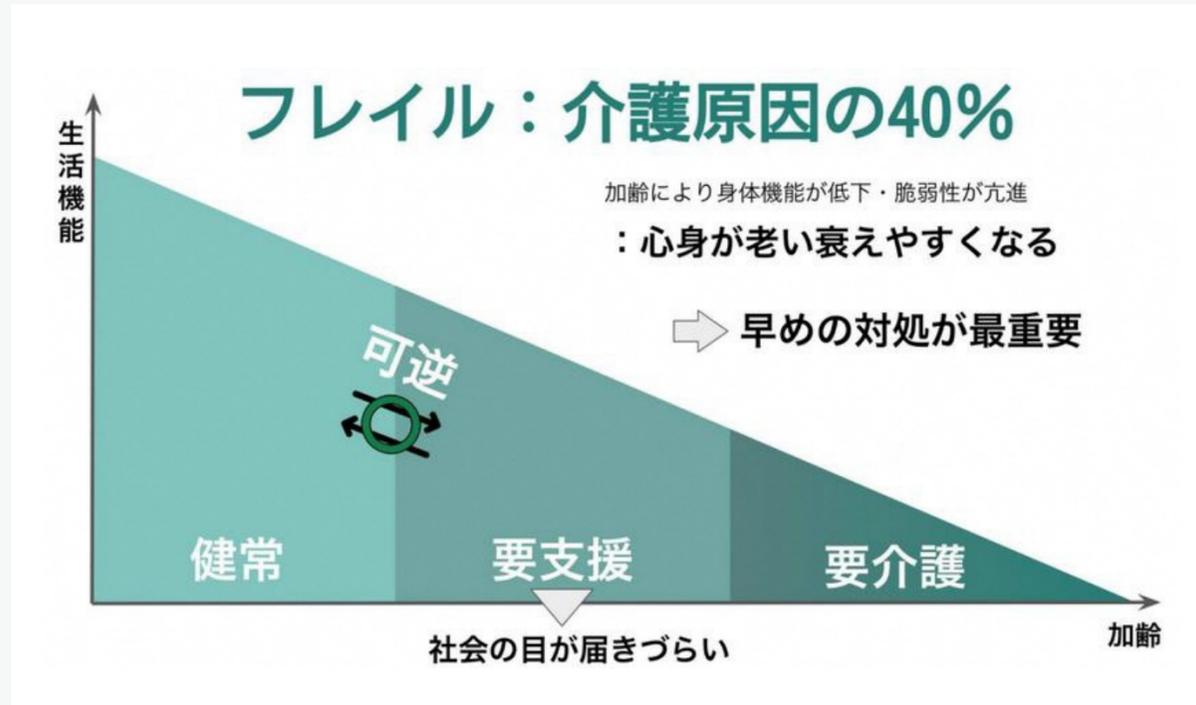
自己紹介



上田 聖也

- ・ 協力隊になる前にやっていたことや住んでいた場所
 - SE(Web系) 都内在住・勤務
- ・ 協力隊になった理由
 - きっかけ：学生インターンで樫葉町を訪れていた
 - 社会や地域に本質的に貢献できるサービスを作りたいと思った
- ・ 好きなことや趣味
 - ゲーム 料理 釣り
- ・ 3年後に何をしていたいか？
 - サービスの企画・開発を自分でやってみたい

実証コンセプト



“日常生活”の中で、身体的状態（Health Stage）を認識し、自然と回復運動を起こす、“自己再生型”健康維持が当たり前の習慣

一人ひとりの健康維持を、
家族・社会が「無理なく」応援・共助
介護負担＋社会福祉負担の最小化

亡くなる直前まで
アクティブで孤立しない
ライフスタイルの実現
シニアのWellbeing（幸福度）の創出

楡葉町での活動



AIでフレイル診断

東北大学病院附属楡葉地区センター「AILE(アイル)」と、同センターのデジタルラボ(DX)支援を担うシラボホールディングス(本社、楡葉町)は、人工知能(AI)を活用した「AIフレイル診断システム」の開発を進めている。町と楡葉地区センターの協力を得て、町の健康診断で歩行動作を使用した「AILE」の実証に取り組んだ。千人のデータをAIで学習させ、来年1月にリリースを予定している。フレイルは高齢者の身体能力などが低下した状態。病気の発症リスクが高まるため、早期発見が大切になる。AILEは歩行動作から状態を診断できるAIを開発した。シラボホールディングスは、そのAIを活用するアプリを作成中。アプリで診断結果を示し、状態に応じた運動法などを紹介する予定だ。

町で実証 来年1月の完成を目指す

楡葉地区健康診断の参加者がシラボホールディングスの支援を受ける。健康診断の参加者がシラボホールディングスの支援を受ける。健康診断の参加者がシラボホールディングスの支援を受ける。健康診断の参加者がシラボホールディングスの支援を受ける。

24年9月：楡葉町総合健診での撮影・姿勢分析
保健福祉課・福島医大・AILE・デジラボ共同実施



24年12月～：おとなの健康教室運営・実証
保健福祉課・福島医大・岩田さん(協力隊)・デジラボ共同実施

アプリリリース



AIフレイルチェック(ベータ版)

無料

iOS/Android版を公開



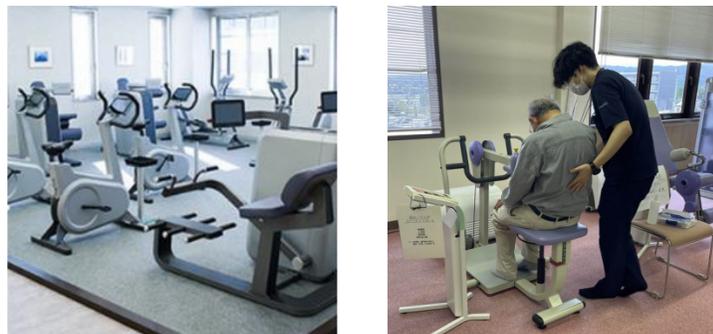
今後の予定:

- 解析精度の向上
- 姿勢分析の追加
- 運動レコメンド

来期の展望(実用化開発)

基本モデル

診断環境・アプリの改善
+
フレイル状態を治す



- 機器を使った運動メニュー
- 運動方法のレコメンド

運輸・運送事業者

- 高齢化ドライバー事故防止
- 損害保険商品の開発

集合住宅

- 地区の“フレイル率”可視化
- 地域包括ケアの成果評価

商店・百貨店

- 顧客の健康寿命延伸



デジラボとしての収益

運輸事業者からの委託費
連携保険商品の販売収益

大手ディベロッパー
からの委託費
入居者向け有料サービス

百貨店・通販事業者
からの委託費



株式会社デジラボホールディングス